

会議名	第6回小高区義務教育学校設立検討準備協議会
日時	令和8年3月30日(月) 18:30~20:00
場所	小高生涯学習センター 第1・第2研修室
参加者(庁内)	教育長、教育委員会事務局長ほか
参加者(庁外)	小高区義務教育学校設立検討準備協議会委員 11名

【説明・協議事項】

(1) 令和8年3月保護者懇談会結果の概要及び今後の進め方について 資料1、2、3

①主要な意見

- 先生と生徒が中学に上がっても関係性が途切れない小中一貫の良さを目の当たりにした。
- さまざまな意見が出ているが無駄なものはないので、事務局の方で検討し、この方向性で進めてほしい。
- 地元出身の人と移住してきた人で考え方に違いがある。一方を優先すれば、もう一方の意見が疎かになるし、今後どういう学校を目指すか、どういう方向性を目指すか、非常に大変な問題だと考えた。

②質疑応答

No	委員からの意見	事務局からの回答
1	資料1の8ページに今後の進め方ということで①現状分析(小中一貫教育の評価)の実施、②現状分析と保護者意見を突き合わせ論点整理、を保護者と共有し、論点について検討とあるが、具体的にどのような形で検討するのか。	小中一貫教育の評価をしながら、意見を踏まえて論点を整理したい。事務局で論点の解決策をある程度整理した上で、協議会や保護者と共有したい。
2	共有の方法はどうイメージしているのか。	現時点では対面で提案をしながら直接懇談会のようなものを開催してやり取りしたい。小中一貫教育の現状分析の結果も踏まえて、どのように保護者への説明を行うか、スケジュール調整については来年度以降学校と協議していきたい。
3	保護者の意見しか聞いていない。地域の話は聞かないのか。	現時点では保護者との協議を進めていき、ある一定の方針が出た段階で地域の方々に方向性や経過等を伝える懇談会を行おうと考えている。情報の共有に関しては協議会だよりを作成し区民に配布したいと考えている。
4	学校側と保護者と検討協議会の中でのやり取りをどのような手段をもって伝えていくかが次年度以降の考えるテーマではないか。	PTAの意見の集約方法についてはおまかせしていたところがあったため、意見をどのように集約していくかは宿題としたい。範囲についても、幅広く多くの意見を拾いたいが、收拾がつかないところもある。地域に愛される学校になるよう、今後も意見集約をしながら検討していきたい。

No	委員からの意見	事務局からの回答
6	これまでも地域の人々が小高小中に関わっている。これからの様々な変更は小高小中の伝統が関わっているため、ある程度早い段階から地域の方の意見も聞くべきだと思う。	まずは保護者の方々との協議を進めていき、基本方針を作成したい。あるべき学校の姿で学校種をどうしていくか、学校開校年度等の基本方針を協議し、ある程度方向性の決まった段階で地区の方々に説明していく。その中で学校種が定まり校歌など決めていくときに、地区の方々にも意見を伺う機会は持ちたいと考えている。今はまだ保護者の方々とのキャッチボールが足りていないため、そこを重点的に協議し、その上で地域の方にも意見を頂くタイミングは設けたい。
7	児童クラブで毎月色々なプログラムを体験するようだが、英語のプログラムは外部の人を呼んで教えるということか。	ひとつの案として、学校の先生ではなく、地元の方々等にご協力いただきながら、英語に慣れ親しんでもらうことができるのではないかと意見は承っている。ただ、その手法については、どういふものかこれから検討していく内容の一つと考えている。

③決定事項・今後の対応など

保護者懇談会の結果を踏まえた今後の進め方については、事務局案のとおりとする。

【次回会議の予定】

令和8年6月に、令和8年度第1回の協議会を開催予定。